

伊藤 ゆきひろの ちょっとタイム



後援会便り <No. 2号> 2011年4月1日発行

ごあいさつ

寒風に潔く咲く梅とともに
始まった、私の“ちょっとタイム”
配信も、あっという間に桜花爛漫
の頃へと変わりました。

多くの方々から温かな激励のお言葉を
頂き、誠にありがとうございました。

また 今回の東北関東大震災で、後援会の
皆様の中には、ご家族や親族、ご友人等
被災された方もおいでになるかと存じます。
心よりお見舞い申し上げます。



【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel. 0566-36-3870

Fax. 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp



歳時記

4月 1日(金) 新学期・新財政年度
5日(火) 清明・旧ひな祭り
8日(金) 花まつり
17日(日) 土用
20日(水) 穀雨・切手趣味週間
29日(金) 昭和の日

新年度の始まりです。
新入学、新入社等、新しい
ものごとへの挑戦は 期待と
不安に満ちています。
真っ直ぐに伸びようとする
芽にも、紆余曲折の試練は必要
ですが、温かな指導が きっと
糧となり 力となるはずです。

楽っキーワード！

★ 刈谷桜まつり

亀城公園(城町)・洲原公園(井ヶ谷町)で開催

3月25日(火)～4月/上旬 午後9時までライトアップ

★ プラネタリウム〔中央児童館 はばたき 3階 プラネタリウム室〕

* 特別放映：3月12日(土)～4月10日(日)

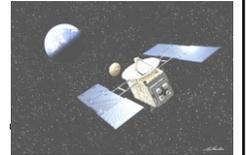
小惑星“イトカワ”から奇跡的な帰還した

『はやぶさ』を紹介 ☆

* 一般放映：3月12日(土)～5月29日(日)

『春の星座とはやぶさのたどった道』を紹介

詳細は刈谷市ホームページまたは中央児童館へお聞き下さい



お知らせ

*** 東北関東大震災への刈谷市の救援情報 ***

<3月20日時点の情報：詳細は刈谷市ホームページをご覧ください>

- ・ 義援金受付けの募金箱設置・・・市内13箇所(3/14～9/30まで)
- ・ 刈谷市の備蓄物資の発送や消防援助隊が派遣されました。
- ・ 被災者への住宅提供(市営住宅4団地5戸)が始まりました。

連日目を背けたくなるような、悲しく苦しい映像に胸をしめつけられる思いが致します。

各所・各団体で募る義援金に應じるだけの微力な身ですが、そんな一人一人の思いが集まれば、必ず被災者の方々を温め、心に春を呼ぶに違いないと思います。

“自分にできることは何か？” 他人事でなく考える時です。

4月の行事予定

ボランティアの皆さんの
お力をお借りして、後援会の
皆様の下へあいさつに伺います。



よろしく
お願いします!!



3月のフットワーク

■ 初めて議会(3月議会)の傍聴に行ってきました。



見晴らし最高！
刈谷市内が一望できます。
傍聴席なら誰でも
気軽に入場できますヨ！！



- ▶ 本会議場は9階
- ▶ 傍聴席は10階

本会議場

皆さんも一度
ご覧になっては
如何でしょう。

<議会質疑の紹介>

- ★質問案件に対し、
 - ・議員の思い(あるべき姿)
 - ・問題と課題の指摘
 - ・当局側の現状認識を確認
 - ・自らの調査結果を説明
 - ・当局側の改善への取り組みを確認
 - ・今後の改善への指摘と要望・要請
- 以上のような観点で議員・当局側 双方とも緊張感を持って議論をされていました。

<私の感想>

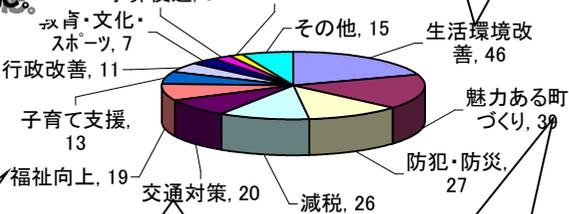
議員自身が案件の調査を行い、他市との比較や連携という観点で指摘・要望を訴える事が重要と感じた。

■ 後援会の皆さんからのご意見を集約しました。

<後援会加入申込書に記載されていた意見内容です>

3/20時点での中間報告で、
2003件中、233件頂きました。

予算使途、5 雇用対策、4 (数字は件数)



- ・逢妻駅のバリアフリー化
- ・ゴミ出し場所がもう少し低く
- ・路線バスの増便

- ・ムダを削って欲しい
- ・箱ものは維持費を考えると
- ・休日手続きの時間増
- ・組織(役所間・内部)の連携強化

- ・待機児童を減らす策を
- ・入園基準の見直しを
- ・子ども手当の増額を

- ・やさしい刈谷 住みやすい刈谷に
- ・特に身障者に力をいれた活動を
- ・独自の介護補助があっても

- ・自転車道の整備に力を
- ・朝夕の渋滞を何とかして

- ・商店街の再開発で活気を
- ・美しい街「刈谷」を目指せ
- ・北部の発展を頼む

激励コメントもたくさん頂き、
ありがとうございました。

伊藤ゆきひろの

ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪

“光の春”から“気温の春へ” 季節は大きく動き出しました。

地下のパーラーにはさんさんと光、そして豊かな緑と心地好い音楽が食事と会話を弾ませます。



さて、ここはどこでしょう？



3月1日発行<No.1号>の答えは、

← ← 刈谷市半城土町の『カフェ・ド・ティユール』です。
(ミサガパークのすぐ西です) おわかりになりましたか？

“香り”への招待 ☆

“春の匂い” 皆様はどのようなものを 想像されますか？

仄かな梅の香り、さやえんどうの 若々しい緑の匂い、蛤のお吸い物に春の磯辺を 思い浮かべる方も多いでしょう。

日本人の繊細な感性は、そんな香りに対しても想像力を膨らませました。

“聞香”(ききこう・ぶんこう・もんこう)という言葉があります。

仏教伝来とともに伝わった茶と香りは 平安貴族の楽しみともなり、衣服 頭髮・部屋などにたきしめる薫物(たきもの)は、その幽玄な香りを較べて 優劣を競ったりする 現代の香道へと発展しました。

香りを“聞く”と表現する 日本人の美意識は、耳を澄ませて その香りの環境や背景を探る ワインソムリエのようでもありませんか。

ちなみに源氏の君は、薫物の秘法を知るがゆえに 尊敬を集めたとのこと。

男性諸氏、彼女のハートを射止めるには、感性に磨きをかけ、好ましい香りについて探究することが必要かも知れませんね。